

自作教具の活用事例

<p>【作品名】</p> <p>すごろくをしながら、問題を解こう</p>	<p>【学校名】</p> <p>日立市立日立特別支援学校</p>																				
<p>【活用できる領域・教科等】</p> <p>数学の学習</p>	<p>【制作者名】</p> <p>渡邊 直明</p>																				
<p>【制作の意図】</p> <p>集中力を維持することが難しい児童生徒でも友達と一緒に活動することで、活発に学習に取り組むことができる。友達に質問したり、教え合ったりすることができる。</p> <p>同じ活動を繰り返すことで、見通しをもち、自主的に活動することができる。</p>	<p>【使用方法】</p> <p>3～6人で行う。すごろくのマス目ごとにチャレンジ問題カードを置く。1人ずつサイコロの目に応じて、数えながらコマを進める。チャレンジ問題には身の回りの具体物を活用する。問題を解くたびに、ポイントを渡す。ポイント数を掲示し、全員のポイントが見て分かるようにする。</p>																				
<p>【制作上の工夫】</p> <p>すごろくを A0 サイズに拡大印刷することで、グループ生徒全員で確認することができる。</p> <p>サイコロの代わりにルーレットのアプリを使ったり、コマを顔写真にしたりすることで、学習意欲や集中力を高めることができる。</p> <p>すごろくのマス目は空欄にして、問題を入れ替えることができるようにする。問題を習熟度に合わせることで、学習意欲を高めることができる。</p>	<p>【見取り図】</p> <p>黒板に、ポイント数を掲示する。問題を1問解くたびに、1ポイント。表に花丸を1つ貼る。</p> <p>&lt;ポイント表&gt;</p> <table border="1" data-bbox="810 1016 1426 1214"> <thead> <tr> <th></th> <th>問題1</th> <th>問題2</th> <th>問題3</th> <th>問題4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>生徒A</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>生徒B</td> <td>●</td> <td>●</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>生徒C</td> <td>●</td> <td>●</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		問題1	問題2	問題3	問題4	生徒A	●	●	●		生徒B	●	●			生徒C	●	●		
	問題1	問題2	問題3	問題4																	
生徒A	●	●	●																		
生徒B	●	●																			
生徒C	●	●																			
<p>【写真】</p> 	<p>机を並べてグループを作り、すごろくのコマやサイコロ、問題に必要な具体物（電卓など）を準備する。</p>																				
<p>【材料・材質・部品等】</p> <p>すごろくシート (A0版)</p> <p>チャレンジ問題カード</p> <p>コマ (顔写真入り)</p> <p>サイコロ (アプリ)</p>	<p>【使用効果と応用発展】</p> <p>授業の中で小集団の関わりを育てることができる。友達のチャレンジ問題を一緒に聞くことで、自分の復習や予習をすることができる。</p> <p>サイコロを複数にしたり、課題で扱う数を段階的に増やしたりすることで難易度を調整し、さらに達成感を高めることができる。</p>																				